

観光の拠点都市をめざして from 高岡

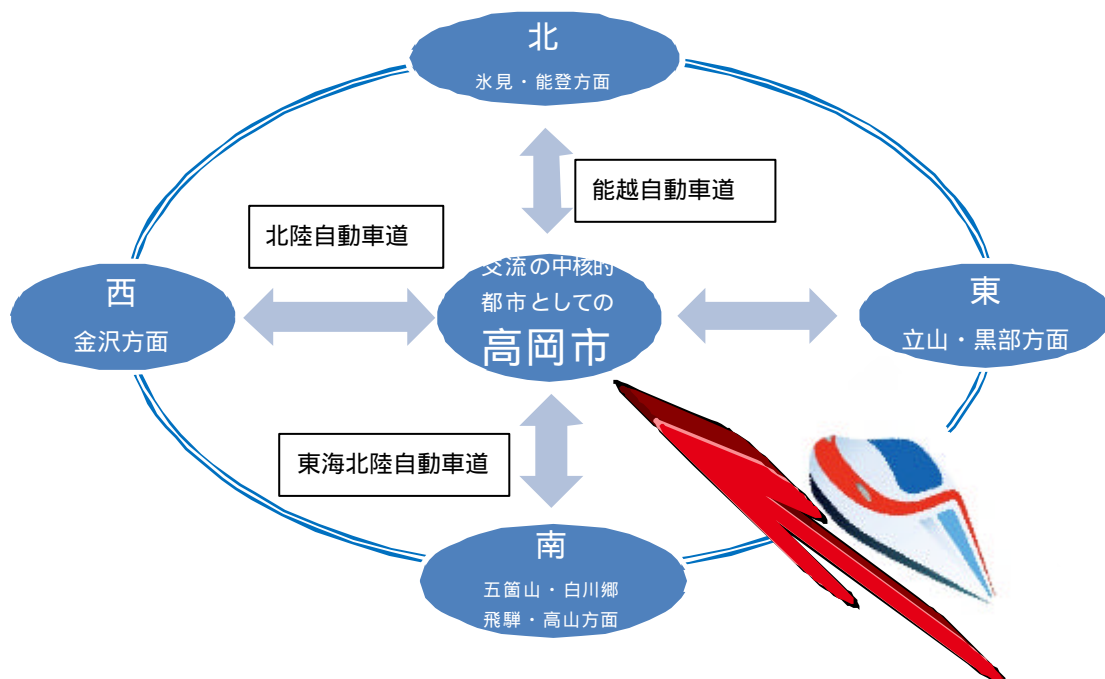
平成 20 年 7 月 5 日の東海北陸自動車道の全線開通は、中京圏からの観光客の増加や交流の拡大など、今年開町 400 年を迎えた本市にとって大きな効果をもたらしている。

さらに、平成 26 年までに予定されている北陸新幹線の金沢までの開業により、高速交通体系が大きく変化していく中、高岡市は、南北軸の東海北陸自動車道や能越自動車道、東西軸として北陸自動車道・北陸新幹線が交差する高速交通網の結節点として、さらなる交流の発展が期待される。

また、県西部で唯一の北陸新幹線新高岡駅が整備されると、首都圏からのアクセスが飛躍的に向上し、新高岡駅は県西部地域だけでなく、能登、飛騨地域も含めた広域的な観光連携を進める玄関口となる。

今後、大都市圏からの観光客などが、高速交通の結節点である高岡を起点に、飛越能地域の東西南北の各方面への観光にお越しいただけるよう、地域の中核的都市として、各地域の観光資源を結びつけ魅力を引き出す役割を担うことが求められている。

交流のイメージ



## 1 東海北陸自動車道全線開通効果

・東海北陸自動車道開通後の5か月間について、昨年同月と比較しました。

### (1) 能越自動車道(福岡IC~高岡IC間)の車両通行台数

H19: 938,574台      H20: 986,369台      47,795台増加(5.1%増)

### (2) 観光入込数

25.7%増(主要11施設の入込数合計)

瑞龍寺は、60.5%の増

### (3) ホテル・旅館宿泊数

4.3%増

### (4) 市営駐車場大型バス利用件数

55.8%増(中央、御旅屋の計)

高岡大仏大型観光バス駐車場は、H20: 516台利用(H19は未集計)

### (5) ボランティアガイド・高岡駅観光案内所案内件数

ボランティアガイド: 95.2%増

観光案内所案内件数: 34.8%増

## 2 さらに交流の拡大に向けた今後の取り組み

### (1) 「飛越能」圏域内の連携

富山県との協賛事業の推進

- ・県市共同での観光PRの実施など

H20 「富山県・岐阜県共同小冊子」に観光情報掲載。

県内各市との連携の推進

- ・高岡地区広域圏

H20 「高岡地区広域圏ふるさとまつり」於: 名古屋

おやべ・ひみ・たかおかビジネス交流交歓会 in 名古屋

- ・富山県西部地区観光協議会(事務局 高岡商工会議所)

H20 観光パンフレット作成、出向宣伝の実施

圏内における多様な連携の推進

- ・飛越能経済観光都市懇談会(事務局 高岡市)

H20 中京圏からのバスツアー事業、フリーマガジンによる情報発信

キャッチフレーズ「ほっこり飛騨 にっこり越中 うっとり能登」

- ・高岡・氷見・七尾広域事業促進連絡協議会（事務局 持ち回り）  
H20 周遊観光モデルルートマップの作成予定
- ・金沢・富山県西部広域観光推進協議会（事務局 金沢市）  
H20 名古屋市中川区で加賀藩学講座の開催予定
- ・金沢市との連携

## （2）都市間交流の拡大（飛越能圏外における様々な共通点での交流）

### 観光

- ・北陸新幹線停車駅都市観光推進会議  
金沢市、高岡市、富山市、上越市、長野市、高崎市の6市で結成  
今後拡大の予定

### 文化

- ・B級グルメ：富士宮市、竜ヶ崎市、三島市など
- ・万葉：薩摩川内市など
- ・歴史街道：街道交流首長会の各都市
- ・山鉾：山鉾屋台保存連合会の各都市 など

### 防災

- ・災害時相互応援協定：一宮市、中津川市、長岡市など

## （3）都市の魅力を磨く取り組み

### 高速交通網を活かす基盤整備

- ・新幹線新駅周辺整備
- ・現駅周辺整備
- ・新駅へのアクセス向上に繋がる幹線道路の整備

### 文化・観光資産の魅力向上に向けた取り組み

- ・高岡城跡の史跡指定に向けた取り組み
- ・金屋町の重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた取り組み
- ・勝興寺の国宝指定に向けた取り組み
- ・御車山祭の魅力向上

（無電柱化を含めた巡行路の整備、展示施設の整備、修復体制の強化）

- ・歴史文化を活かした良好な景観づくりへの取り組み